

# 揮発油税及び地方道路税に関する意識調査

---

NPO法人ドットジェイピー

文責：山口 翔也

April 30,2008

Marketing Group, dot-jp,  
the specified nonprofit corporation



2008年の4月第2週、  
全国の大学生847名に対して  
揮発油税及び地方道路税(以下ガソリン税)について  
意識調査を実施しました。

- 調査概要
- 質問項目
- 調査対象について
- 暫定税率について
- 一般財源化すべきか
- 情報は十分か
- まとめ

# 調査概要

---

- 対象 全国の大学生 847名
- 期間 2008年4月7日～13日
- 調査目的  
この問題に対する若者の意見を社会に届けること
- 調査方法  
各スタッフの広報によるWEBアンケート、紙媒体の配布。
- 調査内容  
現在の国政において最も問題となっている  
ガソリン税の暫定税率や一般財源化に対する  
若者の認知度やそれに対する意見。

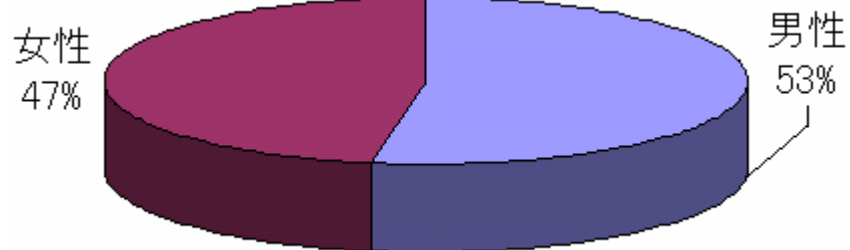
# 質問項目

- 問1.現在の学年をお答え下さい。
- 問2.現在所属の大学名をお答え下さい。
- 問3.現在お住まいの都道府県をお答え下さい。
- 問4.ガソリン税の暫定税率を知っていますか？
- 問5.暫定税率の廃止についてどのようにお考えですか？
- 問6.問5でそちらを選択した理由はなぜですか？
- 問7.ガソリン税の暫定税率を廃止することであなたの生活に生じるデメリットをご存知ですか？
- 問8.問6で知っているを選択した人は、どんなことがあるかお答え下さい。
- 問9.ところでガソリン税の一般財源化という言葉を知ったことがありますか？
- 問10.ガソリン税が特定財源とされていることについてどのようにお考えですか？
- 問11.問10で「その他」と答えた方にお聞きします。どのようにお考えなのかお答え下さい。
- 問12.問10でそちらを選んだ理由をお答え下さい。
- 問13.ガソリン税を一般財源化することで、  
あなたの生活にどのような影響があると思いますか？
- 問14.ガソリン税に関する情報は十分ありますか？  
もし不十分なら、どこが情報を提供するべきですか？
- 問15.開示方法としてはどのような手段を望みますか？（複数選択）
- 問16.問15で「その他」と答えた方にお聞きします。  
どのようにお考えなのかお答え下さい。

# 調査対象について（性別・学年）

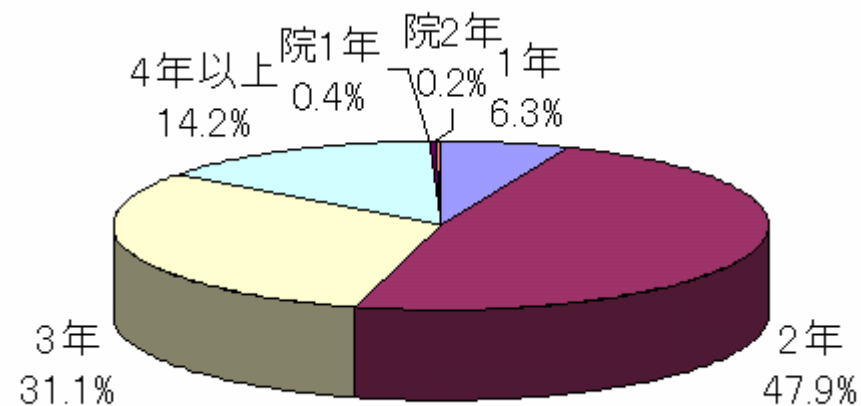
性別

性別	人数(人)
男性	448
女性	399
合計	847



学年

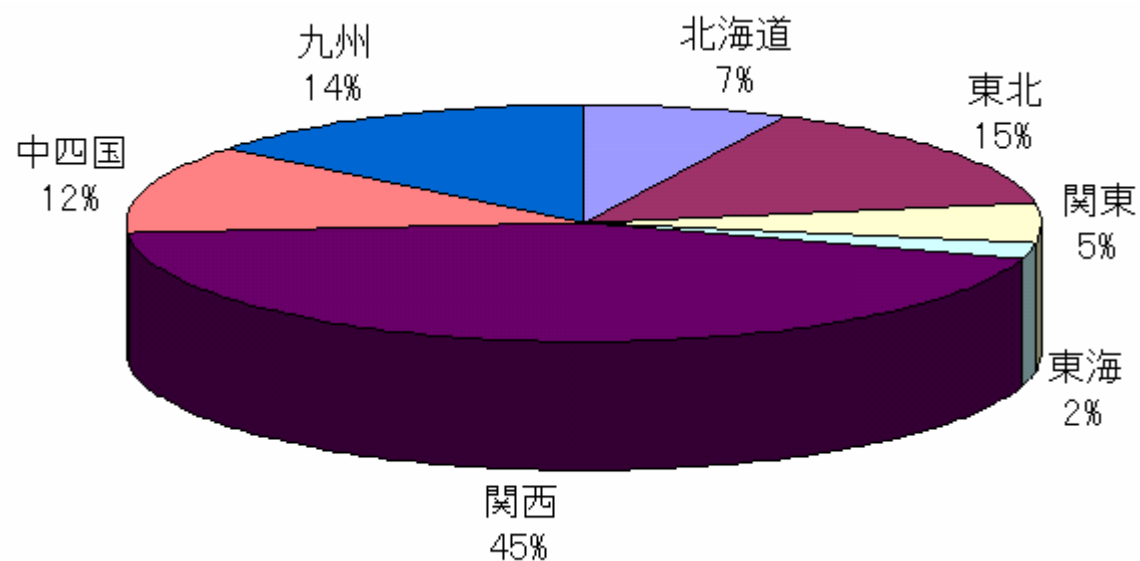
学年	人数(人)
1年	53
2年	406
3年	263
4年以上	120
院1年	3
院2年	2
合計	847



# 調査対象について（所在地）

## 地域

居住地域	人数(人)
北海道	61
東北	127
関東	46
東海	17
関西	372
中四国	105
九州	119

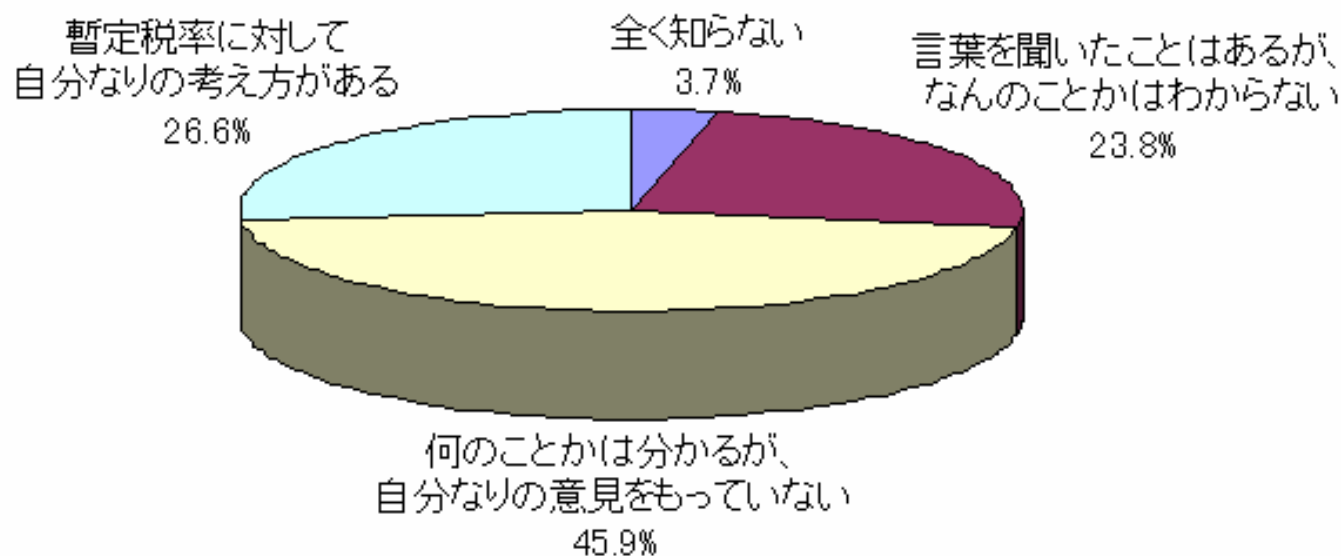


# 暫定税率について

---

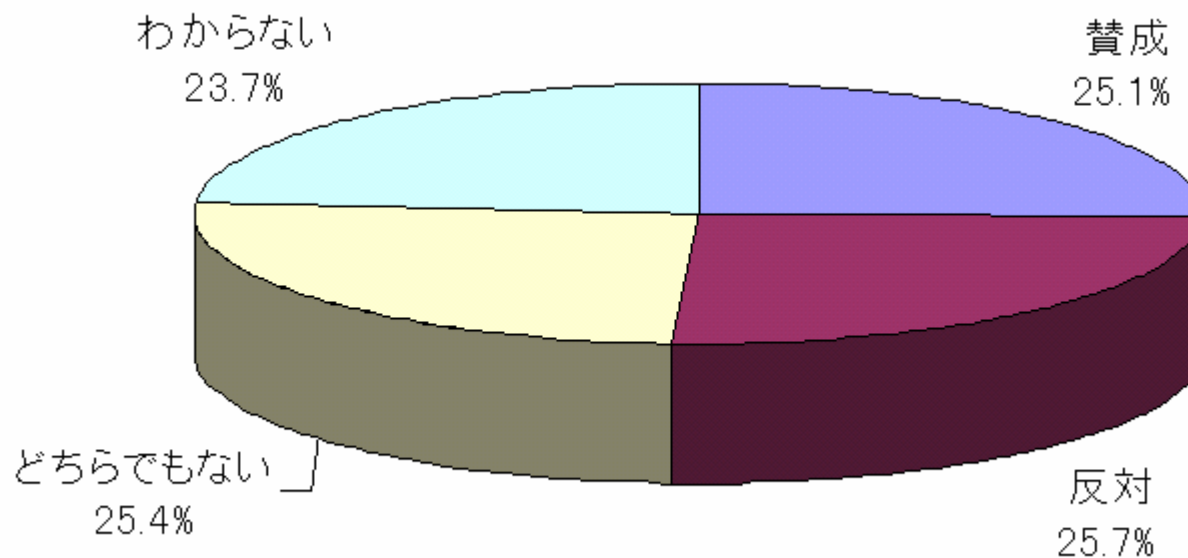
## 暫定税率についての認知度

「暫定税率」の認知度は96%。  
 暫定税率についての認知度は96%と非常に高い。  
 その一方で、自分なりに考えられている人は27%にすぎない。



## 暫定税率の廃止に対して

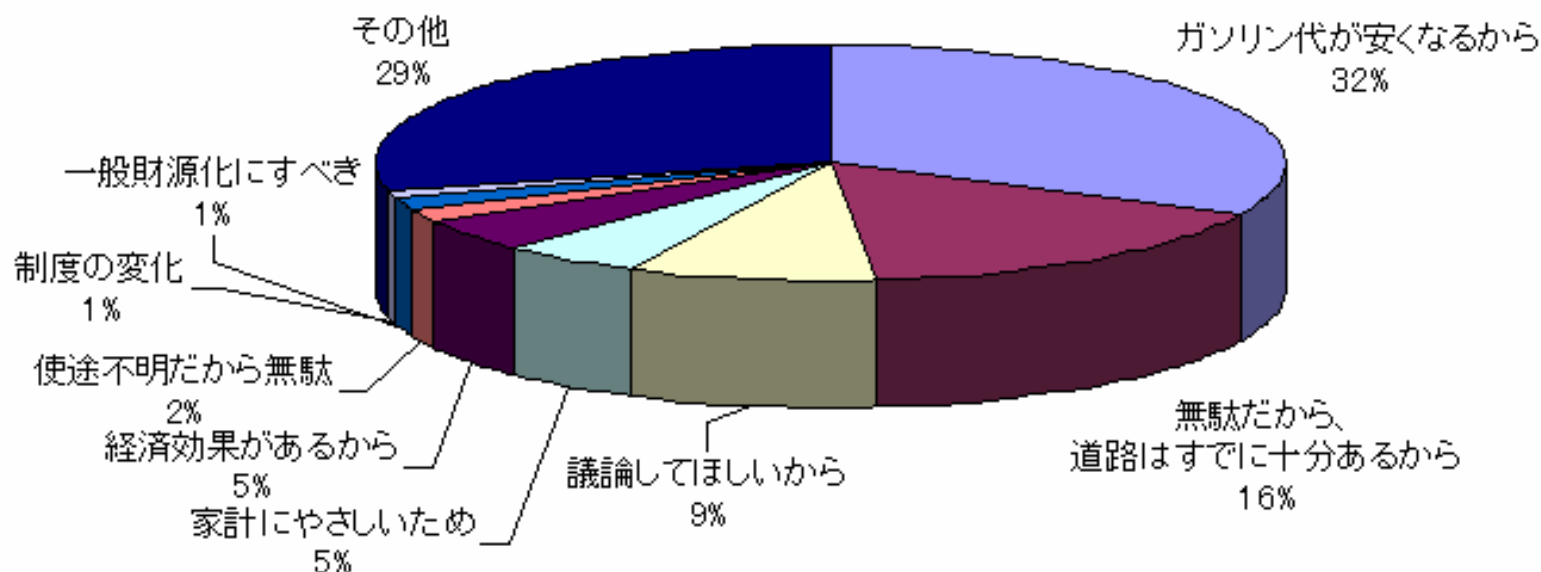
暫定税率は廃止すべきに 反対25.7%・賛成25.1%  
反対がわずかに多いが、意見は完全に割れている。



## 暫定税率の廃止に対して：賛成の理由

### 暫定税率廃止に賛成の理由

『ガソリン代が安くなるから（32%）』、『道路はすでに十分にあるから（16%）』という理由が半数近くを占めた。3つ目に回答が多かった『必要なかの議論をすべきだから（9%）』という回答に注目したい。

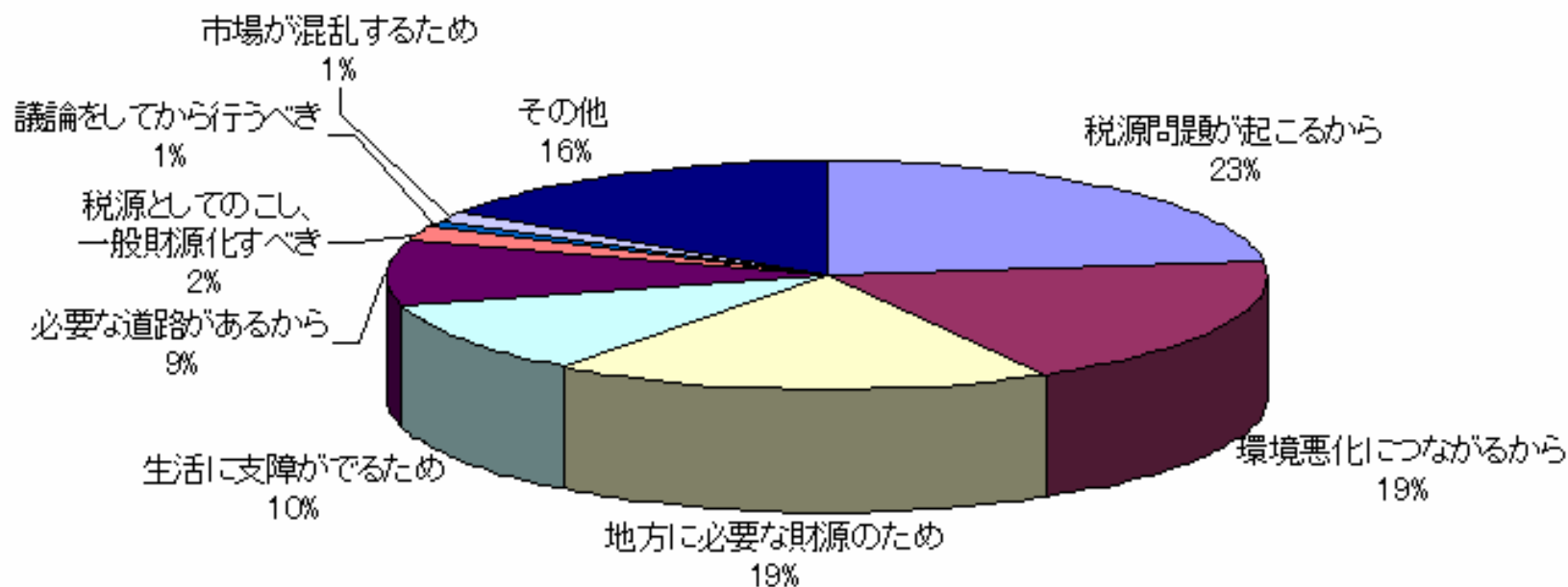


## 暫定税率の廃止に対して：反対の理由

### 暫定税率の廃止に反対の理由

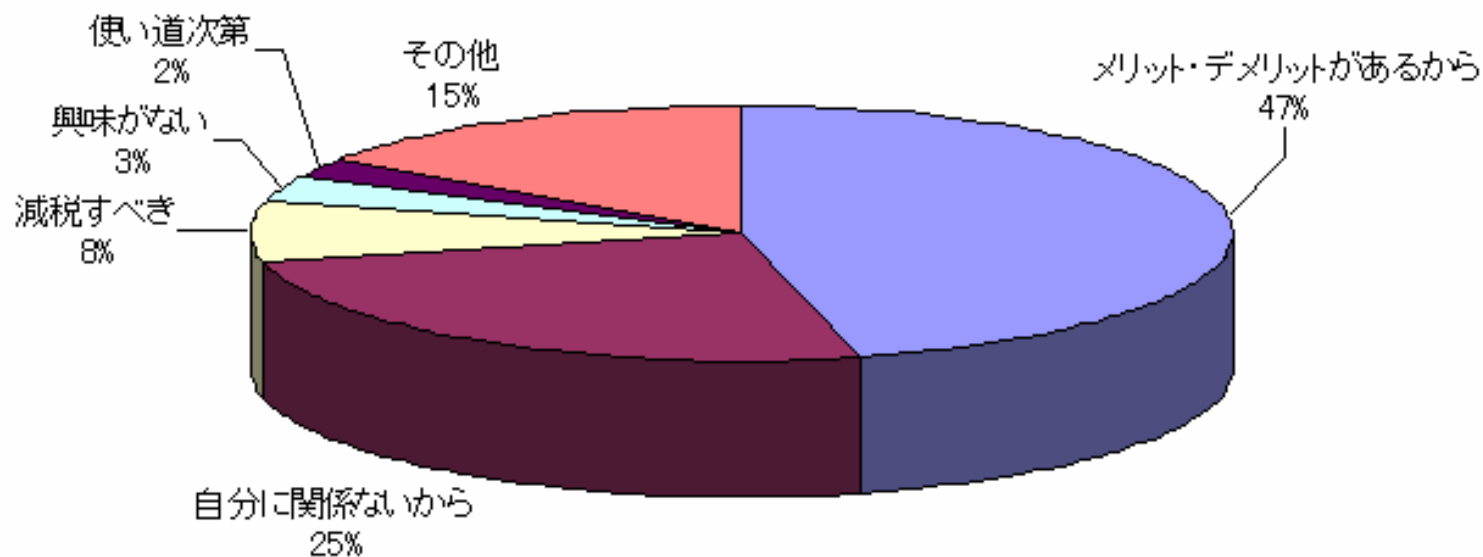
『税源問題が起こるから（23%）』『地方に必要な財源のため（19%）』の2つで全体の42%を占めた。

『環境悪化につながるから（19%）』という回答が19%を占めたのは、町村議員などの意見が報道されているからか、または、若者の環境への意識の高さを表しているのだろうか。



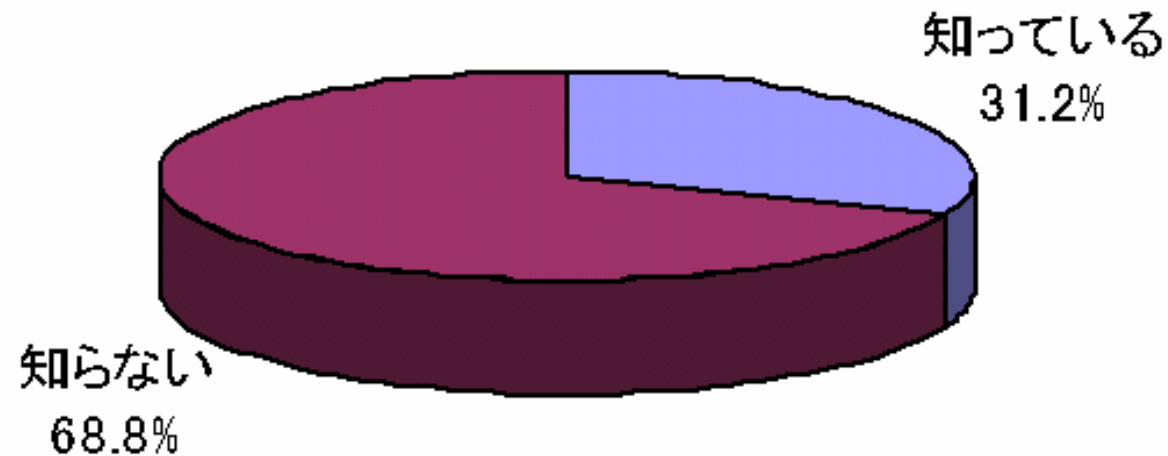
## 暫定税率の廃止に対して：どちらでもない理由

暫定税率の廃止に賛成でも反対でもない理由  
『メリット・デメリットがあるから（47%）』がトップ。  
次に『自分に関係ないから（25%）』と続いた。



# 暫定税率の廃止による自分の生活へのデメリット

「自分の生活へのデメリット」の認知度は 31%  
自分の生活へのデメリットを知っているのは全体の31%にすぎない。

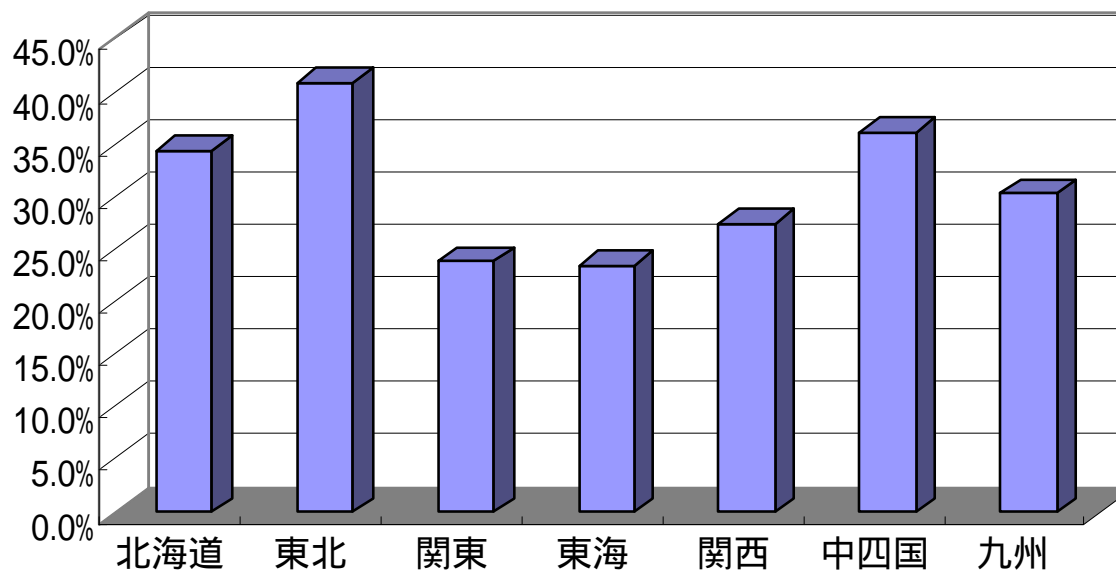


# 暫定税率の廃止による自分の生活へのデメリット（地域別）

「自分の生活へのデメリット」の認知度、地方は都市の1.6倍  
デメリットの認知度は、北海道・東北・中四国で高く  
関東・東海・関西で低い (九州は中間)

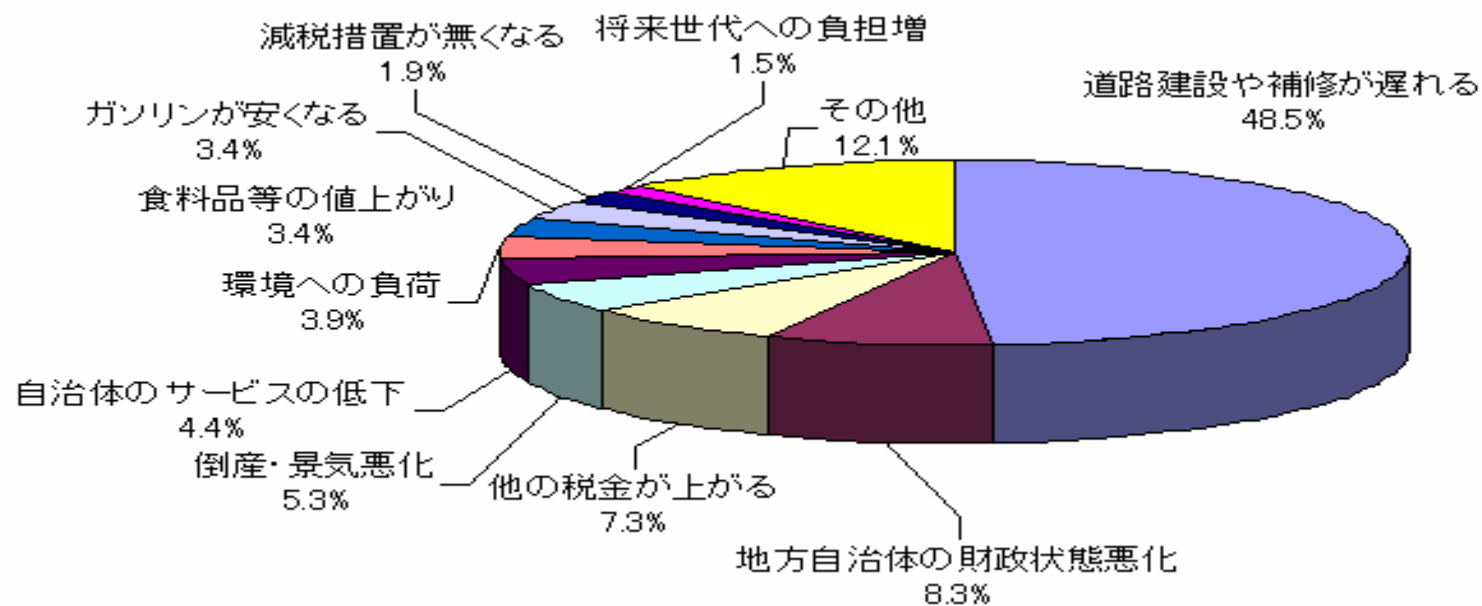
地方：高い  
都会：低い

という構図が、若者の間でもあるのではないだろうか。



# 大学生の考える暫定税率の廃止のデメリット

大学生の考える暫定税率廃止のデメリットは  
 「道路の建設や補修が遅れる」が49%、  
 「財政状態の悪化（8%）」、「他の税金が上がる（7%）」、「景気の悪化（5%）」がこれに続いた。

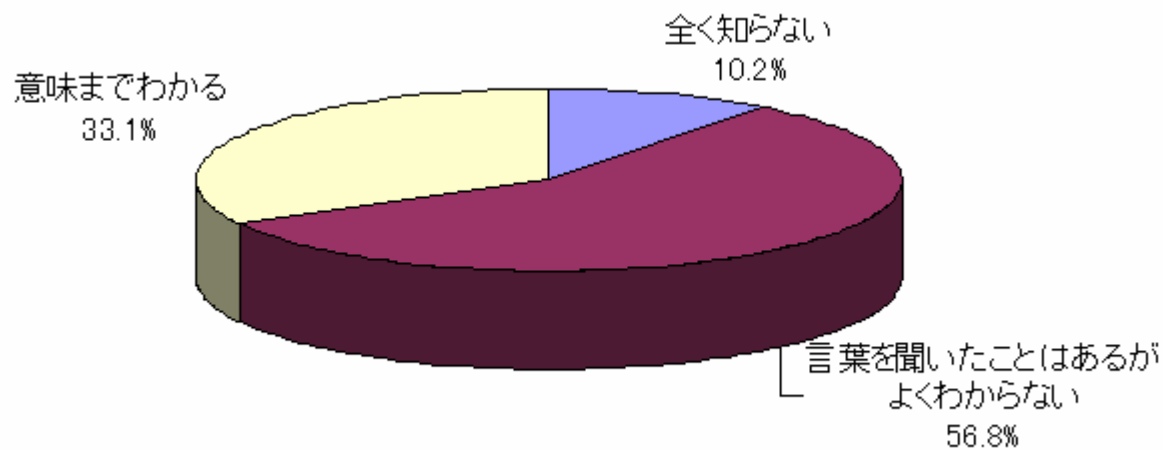


# 一般財源化について

---

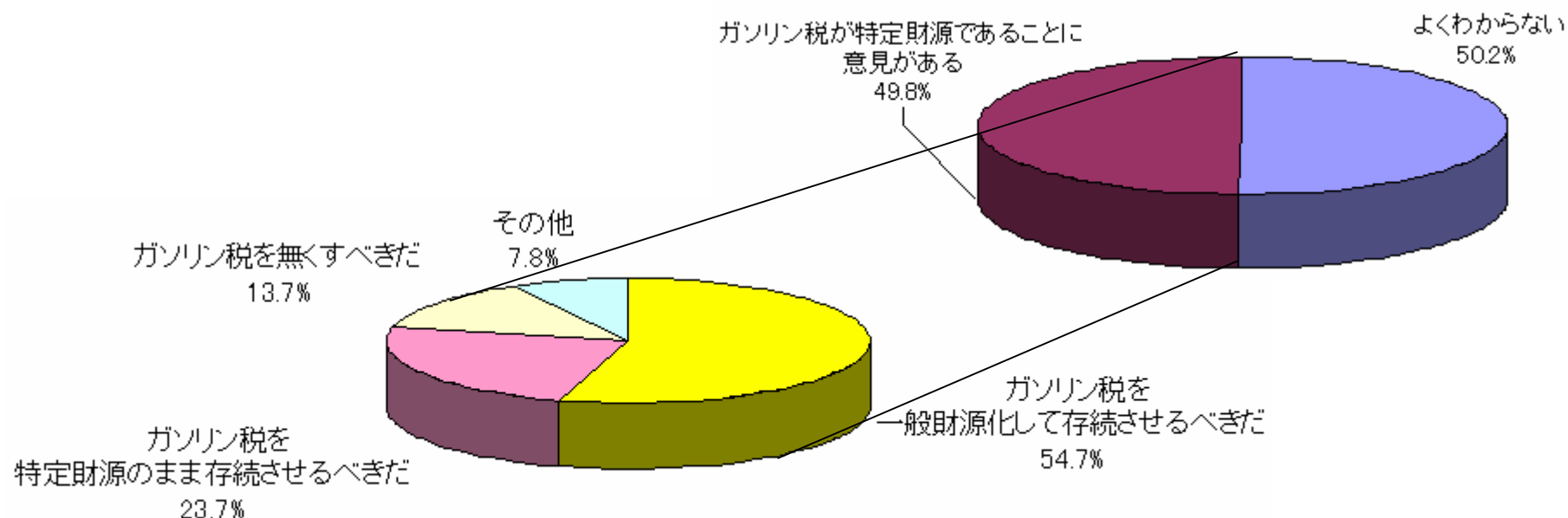
# ガソリン税の一般財源化の認知度

「一般財源化」の認知度 90%  
 認知度自体は90%にのぼる。  
 一方で、意味まで分かるのは全体の33%にしかすぎない。



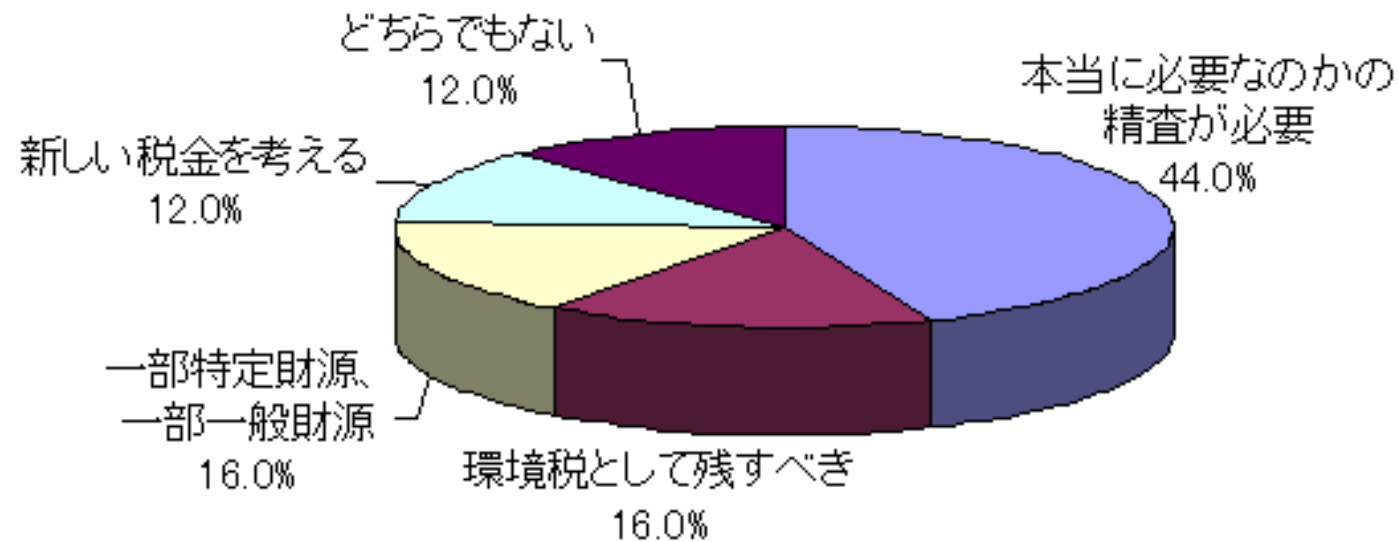
# ガソリン税が特定財源であることに対して

ガソリン税は特定財源でいいの？  
 ガソリン税が特定財源であることに対して自分の意見を持っているのは、全体の50%であった。  
 意見のある者のうち55%は、ガソリン税の一般財源化を望み、  
 特定財源のまま存続させるべきだと答えたのは24%であった。



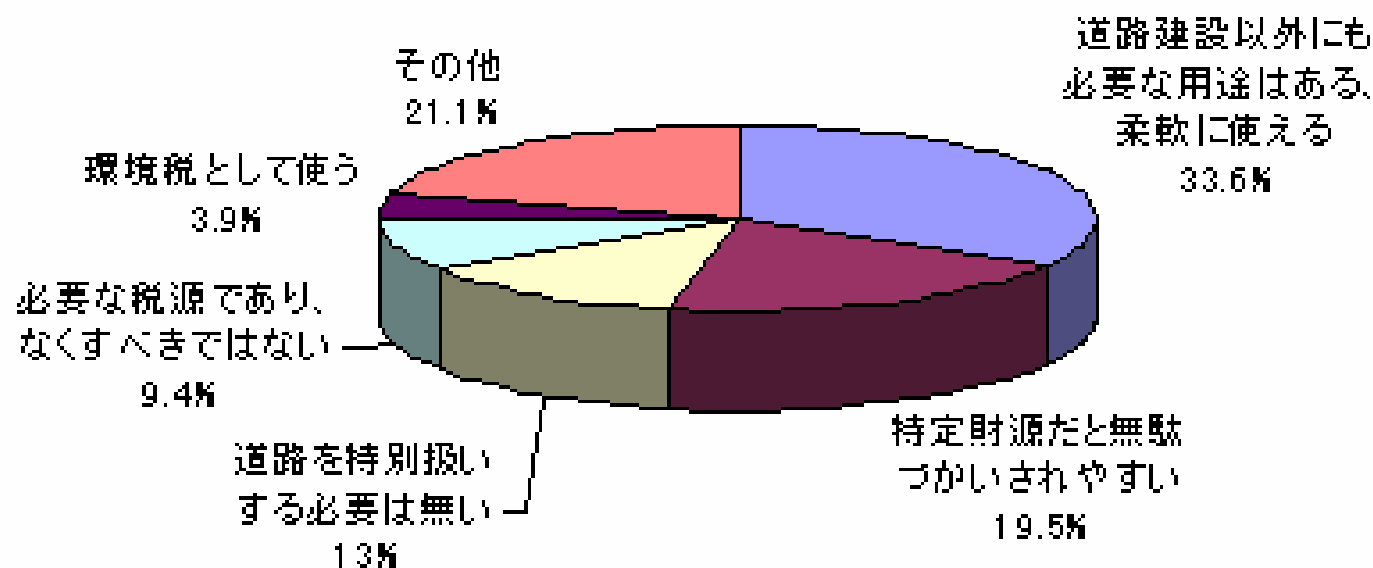
# ガソリン税が特定財源であることに対して（その他）

その他の内訳：本当に必要なのかの精査が必要だと答えた人が44%を占めた。  
環境税として残すべき、  
一部特定財源、一部一般財源という答えが続いた。



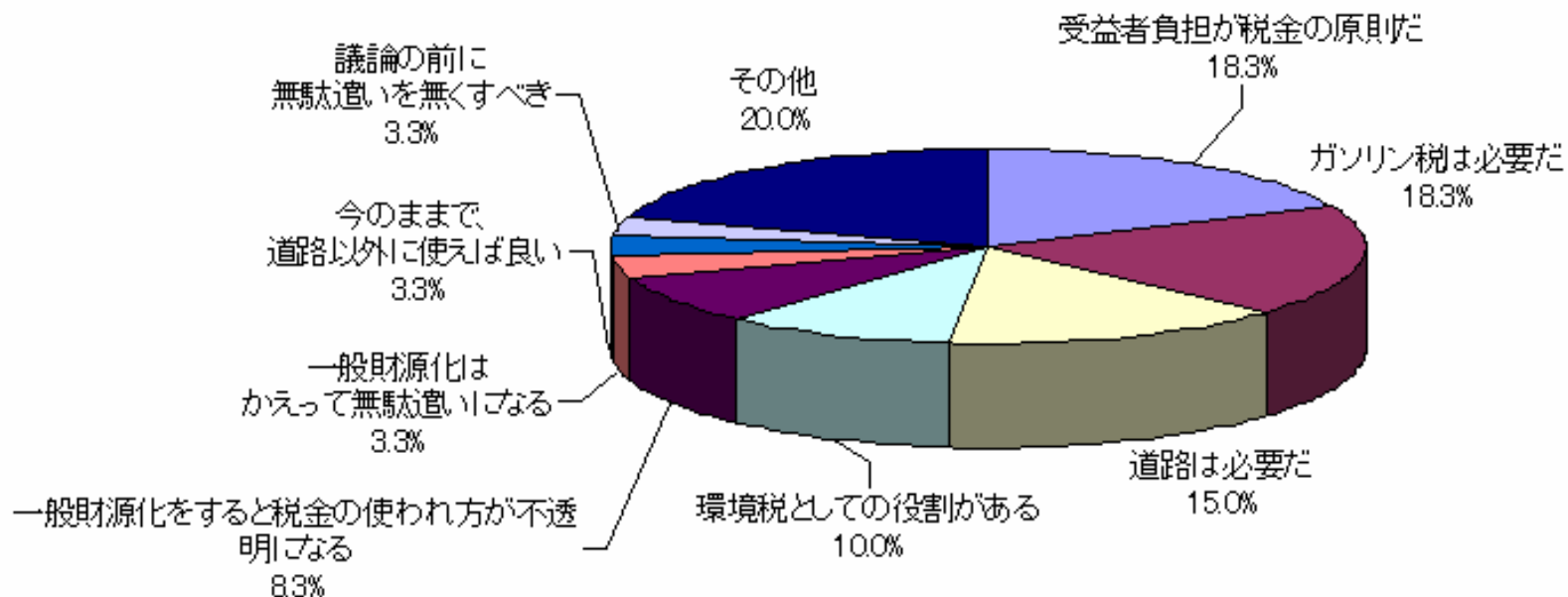
# ガソリン税を一般財源化して存続させるべき理由

ガソリン税を一般財源化して存続させるべき理由とは？  
道路以外にも使いたい分野(福祉や教育)がある(34%)ことや、  
特定財源のままでは無駄遣いされるのではないかと懸念、  
道路を特別扱いする必要は無い、という答えが続いた。



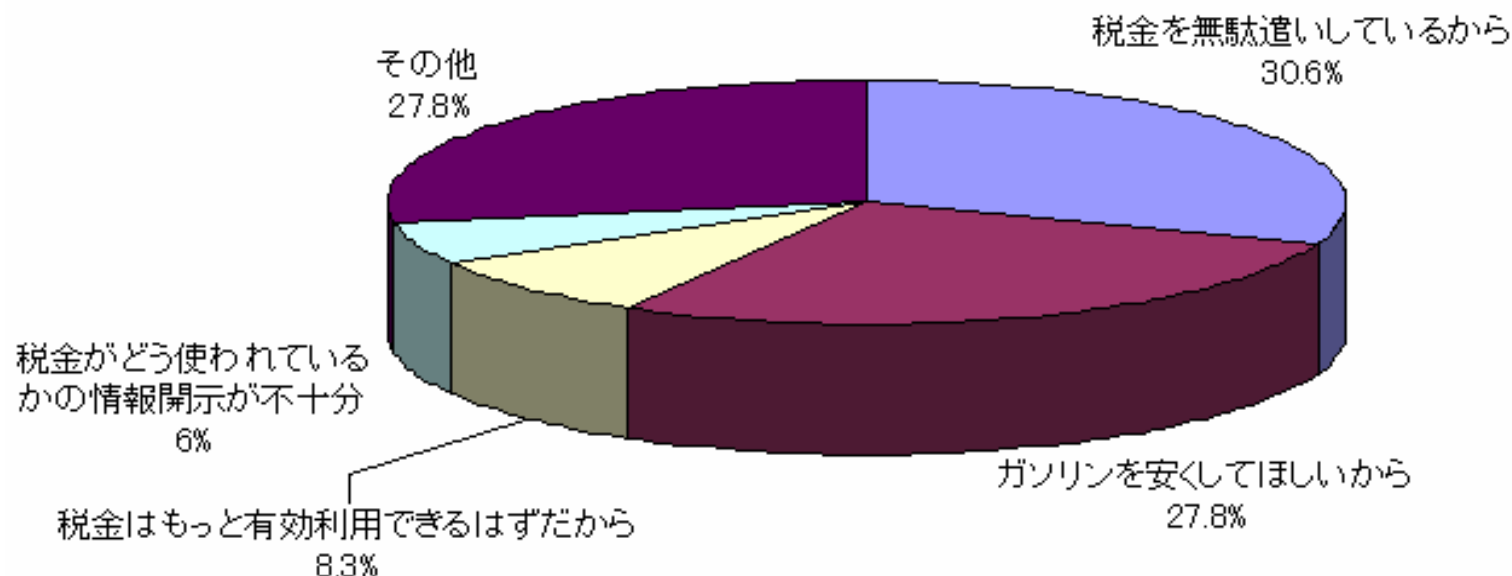
# ガソリン税を特定財源のまま存続させるべき理由

ガソリン税を特定財源のまま存続させるべき理由とは？  
受益者負担の原則（18％）、ガソリン税は必要だ（18％）という答えが一番多く  
道路は必要だ（15％）という答えが続いた。  
4番目に多い答えの『環境税としての役割がある（10％）』  
という答えにも注目したい。



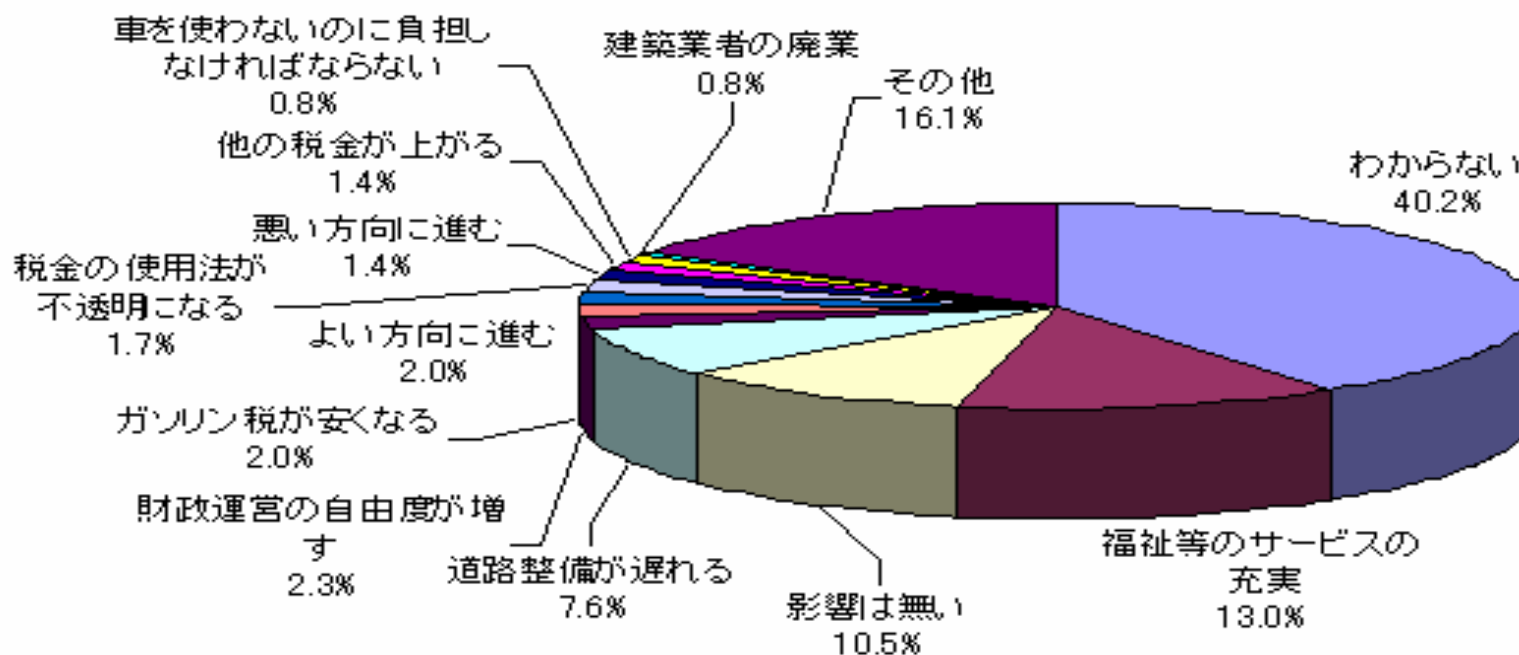
## ガソリン税を無くすべき理由

ガソリン税を無くすべき理由とは？  
税金を無駄遣いしているからが31%で最も多く、ガソリンを安くしてほしいからが28%が続いた。税金を無駄遣いしているからが一番多いのは、報道の影響も考えられるが、若者の政治への不信感、そして政治が説明責任を十分に果たしていないことではないだろうか。



# 大学生の考えるガソリン税一般財源化の影響

大学生の考える「ガソリン税一般財源化」の影響とは？  
『わからない』と答えた人が40%を超え、影響が無いと答えた人が11%いた。  
一般財源化に対しては、福祉等のサービスの充実を期待し、  
道路整備が遅れることを予期していると考えられる。

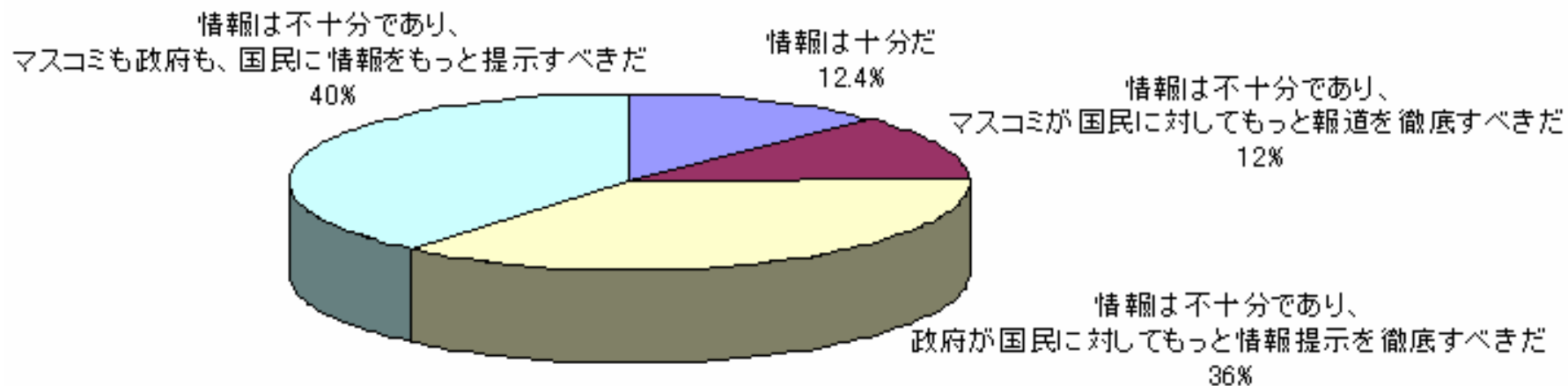


# 情報は十分か

---

## ガソリン税に関する情報は十分か

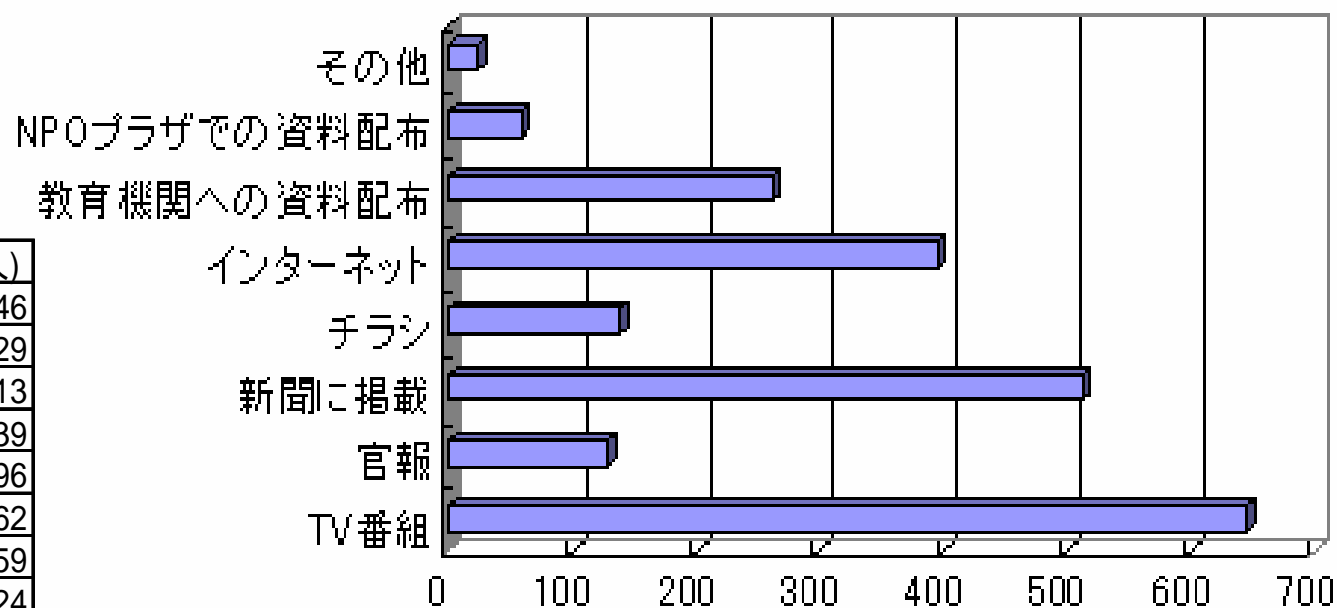
ガソリン税の議論に関する情報は十分 12%  
『十分だ』と答えたのは12%にしかすぎない。  
マスコミに対しては52%が、政府に対しては76%が  
『情報の提供が不十分』だと考えている。



# 望ましい情報の提供方法とは？

望ましい情報の提供方法は TV 80%  
 TVのニーズが高く、回答者847人の80%近い人が望んだ。  
 それに続き、新聞の掲載、インターネットが続いた。

項目	人数(人)
TV番組	646
官報	129
新聞に掲載	513
チラシ	139
インターネット	396
教育機関への資料配布	262
NPOプラザでの資料配布	59
その他	24



### その他の意見

- ・ 政府やマスコミにより、取捨選択されていない情報がほしい。
- ・ タウンミーティングのような形。
- ・ 大学の講義の中で取り扱う。
- ・ 年金特別便のように全国民に冊子を配布する。
- ・ SNS(mixi、GREE等)